



①

1



②

2

静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会実行委員会、静岡県および公益財団法人しずおか健康長寿財団の主催による第29回静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会総合開会式が、木々の新緑が眩しい静岡県草薙総合運動場内の体育館(このはなアリーナ)にて開催されました。運動場入口には大リーグの大谷選手の活躍により一躍脚光を浴びているバーブ・ルースのモニュメントがあります。(写真①②)

本大会は、本格的な長寿社会を迎え、あらゆる世代の県民が自らの問題として長寿社会への理解と認識を深めるためには、世代を超えた連帯交流の輪を広げることが必要であり、高齢者を始め広く県民の参加を得て、スポーツ等を通じてふれあいと交流を図ることを目的に開催します。本大会は平成30年11月に開催される「第31回全国健康福祉祭とやま大会(ねんりんピック富山2018)」の静岡県代表選手(静岡市、浜松市を除く)の選考会、一部の種目では静岡市代表選手、浜松市代表選手の選考会も兼ねています。



③

3



④

4

開会のアナウンスにより、国旗を先頭に選手団の入場行進が始まりました。卓球からテニス、ソフトボール等のスポーツ競技から、囲碁、将棋、俳句等の文化団体まで総勢34(囲碁は別会場で競技中のため欠席)の選手団が入場しました。今回からカローリングとビーチボールと川柳の3種目が新たに加わりました。(写真③④⑤)



⑤ [5](#)



⑥ [6](#)

全選手団が勢ぞろいしたところで、本大会会長である、しずおか健康長寿財団の佐古伊康理事長が開会を宣言しました。(写真⑥)



⑦ [7](#)



⑧ [8](#)

選手団から向かって左手には大会役員の方々(写真⑦)、右手には来賓の方々(写真⑧)が臨席し、本大会の開会式を熱い視線で見守りました。



⑨ [9](#)



⑩ [10](#)

居並ぶ選手団の後方に国旗、県旗ならびに財団旗が掲揚され、選手たちは各競技への奮闘を誓い合いました。(写真⑨⑩)



⑪ [11](#)



⑫ [12](#)

主催者代表として吉林章仁静岡県副知事が挨拶を述べられました(写真⑪)。続いて来賓として鈴木利幸県議会代表(写真⑫)、日吉雄太衆議院議員(写真⑬)が祝辞を述べられました。



⑬ [13](#)



⑭ [14](#)

来賓の県議会議員席からは一人ひとりから選手団に熱い応援メッセージが贈られました。(写真⑭)



⑮ [15](#)



⑯ [16](#)

大会役員や来賓からの祝辞や声援に応えるよう、選手団を代表して水泳のお二人が選手宣誓を堂々と発せられました。(写真⑮)

アトラクションとして、静岡県サッカー協会のメンバーによるサッカーのデモンストレーションが行われました。一部メンバーのお孫さんたちも加わり、競技を楽しんでいる様子が伝わってまいりました。(写真⑯)



⑰

17



⑱

18

続いて学校法人鷺巣学園梨花幼稚園の園児たちによるマーチング行進が行われました。幼いながらも一生懸命に演奏や行進に頑張る園児たちの姿に、選手の皆さんは和やかさを感じると同時に競技への闘志も湧いてきたのではないのでしょうか。(写真⑰⑱)

静岡県リズムムーブメント研究会による準備体操「すこやかエブリデー」では選手の皆さんはじめ大会役員、来賓の方々、会場内のスタッフ、観客も含め全員が参加され大いに盛り上がりました。(写真⑲)



⑲

19



⑳

20

最後に静岡県老人クラブ連合会長の松本庄次大会副会長より閉会の言葉をいただき総合開会式は終了となりました。(写真⑳)

今年の大会は4月21日のソフトバレーボール、囲碁、オセロの3種目を皮切りに、6月30日の川柳競技まで、県内各地において熱戦が繰り広げられています。選手の皆さんの奮闘を期待するとともに、11月開催の「ねんりんピック富山2018」では、健康長寿県として名高い静岡県の代表となられる選手の皆さんの活躍にも大いに期待が膨らみますね。

取材：静岡地区担当 生きがい特派員 竹内 章